



主権者教育

5月10日、3・4年生を対象に、主権者教育を実施しました。三和分校の生徒は、全員が在学中に「18歳」の選挙権年齢に達します。

2年に1度実施する主権者教育では、今年も福知山市選挙管理委員会の方にお越しいただき、選挙の意義・投票の意義をはじめとする選挙の流れを学習しました。



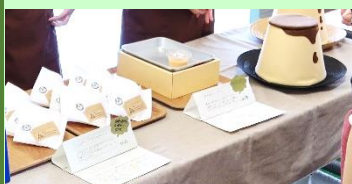
後半は、仮定の「A市」の市長選挙の模擬投票を行いました。立候補者2名それぞれの主張を聞き、自分の考えに近い候補者はどちらなのかを考え、投票する候補者を決めます。投票所で「投票所入場券」を提出し、「投票用紙」を受け取ること、「投票用紙」に「候補者名を記入」し「投票箱」に入れることは、なんとなくイメージしていましたが、最初に投票する人は、投票箱の確認(何も入っていないか…異常がないかなど)を行うことを知りました。

生徒の感想からは、「これで、自信が付いた。本当の選挙に行っても大丈夫!」、「早く投票できるようになりたい。」など、選挙に向けた関心が高まり、投票に向かう意欲がみられました。

三和分校のある福知山市では、今年6月に市長選挙・議会議員補欠選挙が実施されます。選挙権年齢に達した生徒の皆さんには、居住地の選挙の投票に行きましょう。



販売実習



5月25日の授業参観とPTA総会にお越しいただいた保護者を対象に、販売実習を行いました。この日は大好評の「みわちゃんプリン」25個と、お菓子シリーズ「しょうかいな」の新作第一弾!「マーマレードタルト」30個を用意しました。タルトには、今年のマーマレードコンテストに出品したものを使用しています。今回は、家政科2年生が

「販売デビュー」し、上級生が後ろで見守り、サポートしました。

販売開始とともに、順調な売れ行き…プリンはいち早く好評のうちに完売を迎えました。数少なくなったマーマレードタルトも、順番が来た保護者が後ろの人数を見ながら購入数を決めていただくなどの御協力もいただき、並ばれた保護者全員にお買い求めいただくことができました。

今回は完売となりましたが、生徒・教職員は、次回の販売実習での購入を楽しみに待っています。

